

## 関西観光・文化振興計画の改定の概要

### 1 改定のポイント

- ① 現状や課題について、以下の観点から見直し
  - ・国際的なスポーツイベントを踏まえた訪日客対策
  - ・文化庁の関西への本格移転の決定
  - ・外国人観光客の急増に対応するインフラの整備対策
  - ・各取組を推進していくための関西観光本部を中心とした体制整備
- ② 目標の達成に向けた戦略について、①の各課題に対応させて見直し  
(※主な見直し内容は2のとおり)
- ③ 計画の目標(誘客1,800万人、消費額3兆円等)は、28年度に上方修正しており、今回は修正なし

### 2 戦略テーマの主な見直し内容

- ① 国際的なスポーツイベントで多数訪れる観光客の誘客推進や文化プログラムの実施による関西文化に親しむ機会の提供、また、スポーツツーリズムの推進等を新たに記載
- ② 文化庁の関西移転を契機とした「文化首都」関西の発信、文化力の向上、歴史的な観光ルートの開発、文化財の観光資源化など文化観光の推進について新たに記載
- ③ インフラ整備の中心となる「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (Official)」は、利用範囲の拡大や他地域との連携による利便性向上に内容を修正
- ④ 旅行消費額拡大に向けた取組を新たに戦略として記載
- ⑤ 関西観光本部が関西の観光をマネジメントする体制の強化について新たに記載
- ⑥ 「今後のさらなる展開」として、以下の各項目を記載
  - ・特定複合観光施設(IR)にかかる、構成府県市の動向を踏まえた上での連携
  - ・2025年万国博覧会の関西としての誘致、開催決定した際の誘客促進の展開
  - ・次世代を担うプロデューサーや観光人材、通訳案内士、ボランティア等の人材育成

### 3 中間案からの変更

平成29年10月の産業環境常任委員会、平成29年11月に実施したパブリックコメントや、はなやか関西・文化戦略会議での御意見を踏まえて、関西観光・文化振興計画検討委員会で意見を伺い、最終案を策定。なお、平成30年1月16日に観光庁から発表された平成29年の外国人観光客数の数値データを反映。